



特集 3



橋本 隆成

HASHIMOTO, Takahiro

科学的なソフトウェア開発アプローチを推進する部署に在籍。オブジェクト指向技術、テスト技法、CASE Tool 導入の社内推進業務および、CMMによる品質改善業務を担当。

VZA10247@nifty.ne.jp

ますます大規模化する現代のソフトウェア開発では、各部署ごとにプロセス改善に取り組んでも部署間でコンフリクトが発生してしまい、期待通りの効果を得るのは容易ではありません。本特集では、このような“部分最適化のジレンマ”から脱却し、全体最適化を実現するためのアプローチを紹介します。



プロセス改善の 統合的アプローチ

- 第1章 プロセス改善の正しい進め方.....112
部分最適化から全体最適化へ
- 第2章 「統合的最適化」戦略.....117
真の改善効果を得るために
- 第3章 【初期】フェーズ.....119
経営層のコミットメントが不可欠
- 第4章 【診断・分析】フェーズ.....124
効果的なアセスメント
- 第5章 【活動計画立案】フェーズ.....127
インフラを確立し、SEPGを編成する
- 第6章 統合的最適化戦略の効果.....132
コスト削減・ゴール共有・柔軟性と拡張性

